

# 栃木東中「東中だより」5月号



## 【学校教育目標】＜生きる力の育成＞

- よく考え、自ら学ぶ生徒
- 豊かな心と強い意志をもった生徒
- 健康で、自他の生命を大切にす生徒

## 【目指す学校像】＜経営の指針＞

竹のように、誰もが“いちずに天を目ざす”東筍学舎

## 【目指す生徒像】＜東筍の心得＞

- さわやかで、明るくあいさつができ、仲良く活動する。
- 忍耐強く、黙って清掃や作業に取り組む
- 目的をもって、いちずに学習・運動に励む
- 気品があり、場に応じた正しい言葉遣いができる。

平成26年 5月16日 発行 文責：石嶋和夫

## 平成26年度 東中学生会スローガン

「青春 ～仲間を大切に、最高の中学校生活を～」

5月12日（月）、生徒会総会が開催されました。高江柄会長があいさつをし、今年度の東中丸の航路を示しました。東中生全員にとって、素晴らしい航海になることでしょう。

みなさん、こんにちは。新年度を迎えて、生徒会も新たにスタートを切りました。

そこで、生徒会役員で今年度のスローガンを話し合いました。たくさん出た案の中から決まったのが、「青春 ～仲間を大切に、最高の中学校生活を～」です。この言葉には、一度きりの中学校生活を、後悔がないように過ごすということと、たとえ一人ではできないことも、仲間と一緒に力を合わせて立ち向かえるということの、二つの思いが込められています。

生徒同士が、お互いに信じ合うためにも、まずはあいさつが一番大切なことだと思います。クラスの仲間はもちろん、学年を越えて、部活動の仲間、委員会の仲間など、顔を合わせたときには、気持ちのこもった元気なあいさつを試みませんか。そのときには、笑顔も忘れてはいけません。きっとお互い、良い信頼関係が築けると思います。

生徒会総会は、さらによい東中を創り上げるため、東中生全員で話し合う、大切な会です。今、皆さんが持っている資料には、各部活動の目標や委員会の目標、予算についてなど、様々なことが書かれています。これらのことで、不思議に思ったり、納得のいかないこと、分からないことがあったら、この後の議事で意見を発言する場合があります。そのときに、どんどん意見を述べてください。

私たちの学校を創っていくのは、先生や生徒会役員だけではなく、ここにいる東中生全員です。全員で、歴代の先輩を超えるような最高の東中を創り上げましょう。

## 【生徒会重点目標】

- 1 「自主・友愛・奉仕」の信条に基づいて、一人一人が東中生としての自覚をもつ。
- 2 お互いに助け合い、支え合う活動を通して、よりよい校風を築く。
- 3 友人同士のトラブルをなくそう。
- 4 学校行事をすべて最高のものにしよう。
- 5 東中をあいさつあふれる学校にしよう。

## 【平成26年度 生徒会役員】

会 長：高江柄友乃さん（3年）  
副会長：小浪 健弘 君（3年） 石原 悠翔 君（2年）  
書 記：関口杏梨紗さん（3年） 須賀 俊介 君（2年）  
大野笑奈さん（3年）  
会 計：柿沼うららさん（3年） 池田 彩 さん（2年）  
布川里和さん（2年）

「東中学生会が、自分のために何をしてくれるのか。」ではなく、「自分が東中学生会のために何ができるか。」を考え、実行しよう。

## 【生徒会専門委員会の目標と委員長◎ 副委員長○】

図書 委員会 ◎篠崎開斗君 ○萩原沙奈恵さん ○飯田大聖君

- ① 「1・1・1読書運動」達成クラスを増やす。
- ② 「東筍の百冊」を読んで、心を豊かにする。

生活 委員会 ◎高岩佑衣さん ○野口奈穂さん ○近藤礼佳さん

「昨日よりも良い東中」を目指し、正しいことを正々堂々とできる学校をつくる。

環境 委員会 ◎村井太一君 ○三ツ橋拓輝君 ○宇賀神圭佑君

仕事を忘れずに学校の環境を良くする。

保健 委員会 ◎岡安音々さん ○斉藤千春さん ○寺内ちひろさん

仕事を忘れず、責任を持って最後までやりとげる。

体育 委員会 ◎小槌翔斗君 ○坂本 萌 さん ○富田沙椰さん

- ① 行事の中心となり、盛り上げる。
- ② 率先して行動して、周りを動かす。
- ③ みんなをまとめる声を出す。

給食 委員会 ◎熊倉崇宏君 ○小林 唯 さん ○渡邊菜々さん

○ 給食を作った人に感謝して、少しでも残量を少なくするために嫌いな物を減らす。

ボランティア委員会 ◎平井優香さん ○杉戸優佑君 ○松沼奉成君

○ 学校や地域のために、協力率100%を目指して、積極的にボランティア活動に参加する。

学習 委員会 ◎渡邊大貴君 ○小川貴諒君 ○神谷 樹 君

○ 「自主学習」提出率、全クラス90%を達成する。

放送 委員会 ◎小倉秀斗君 ○上原萌瑛実さん ○野口佳穂さん

○ 時間を守り、分かりやすい放送をする。

学年プログラム委員会◎初見香菜子さん○大川知樹君○関口真人君

- ① リーダーとして、模範的な行動をする。
- ② 先輩方の伝統を受け継ぎ、よりよい東中にする。



高江柄友乃会長のあいさつ



生徒会役員の紹介



各専門委員長の紹介



各部活動の部長の紹介

## 努力すれば、必ずどこかで花が咲きます！

5月2日（金）から春季下都賀地区大会が開かれました。どの部も、これまでの練習の成果を発揮して、それぞれの目標を達成しようと頑張りました。

その結果、剣道部男子団体が、見事、県大会出場を果たしました。おめでとう。

### 【野 球 部】

〔1回戦〕野木二中＜勝利＞ 〔2回戦〕小山二中＜敗北＞

### 【バレーボール部】

予選リーグ2勝1敗で、9位以下順位決定戦へ 12位間々田中＜勝利＞ 大平南中＜敗北＞ 都賀中＜敗北＞

### 【男子バスケットボール部】

〔1回戦〕野木二中＜勝利＞ 〔2回戦〕東陽中＜敗北＞

### 【女子バスケットボール部】

〔1回戦〕豊田中＜敗北＞

### 【男子ソフトテニス部】

〔個人〕惜しくも県大会出場ならず

〔団体〕〔1回戦〕乙女中＜勝利＞ 〔2回戦〕大平中＜敗北＞

### 【女子ソフトテニス部】

〔個人〕惜しくも県大会出場ならず

〔団体〕〔1回戦〕国分寺中＜敗北＞

### 【サッカー部】

〔1回戦〕対藤岡二中＜PK戦 敗北＞

### 【卓 球 部】

〔男子団体〕予選リーグ突破ならず＜小山三中・東陽中＞

〔シングルス〕惜しくも県大会出場ならず

〔女子団体〕予選リーグ突破＜栃木南中・大谷中＞

決勝トーナメントに進出、代表決定戦で勝利、**県大会出場**

〔シングルス〕惜しくも県大会出場ならず

### 【剣 道 部】

〔男子団体〕予選リーグ突破＜大平中・美田中・吹上中＞

敗者復活・代表決定戦で勝利、**県大会出場**

〔男子個人〕惜しくも県大会出場ならず

〔女子団体〕予選リーグ突破ならず＜野木中・絹中＞

〔女子個人〕惜しくも県大会出場ならず

## 3. 11を忘れない 全員が真剣に取り組みました

5月13日（火）6校時終了時に、「強い地震からの出火」を想定して“避難訓練”を実施しました。

避難訓練は、「一人の被害者も出ることなく、全員が安全に避難する」ために行います。

「お」 押さない  
「か」 駆（か）けない  
「し」 しやべらない  
「も」 もどらない

そのため、『おかしも』の徹底を目指しました。  
生徒たちは真剣に取り組み、「災害発生の放送」から「全員避難完了の報告」まで4分00秒で、目標を達成しました。

## 大地震に対する本校の対応・指導について

“東日本大震災”から3年経ちました。この間、保護者の皆様には、被災地支援のための「アルミ缶・新聞紙の回収」にご協力いただき、心から感謝申し上げます。

平成24年3月改定の栃木市教育委員会“大地震発生時の学校の対応・指導についての指針”に基づいた本校の対応の概要を、今回改めて右欄に掲載しますので、ご確認いただければ、幸いです。

## 生徒の落雷事故の防止対策について

### 1 基本的指針

生徒の屋外活動や下校に際して、落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止させるとともに、落雷の危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に避難させるなど、生徒の安全確保を最優先に考慮し、対応する。

### 2 具体的な内容

#### （1）危険信号を早めにキャッチする。

入道雲は、落雷の危険信号です。さらに、黒い雷雲が近づくと、多くの場合は、突風が吹くとともに、気温が下がり、やがて激しい雨になります。

しかし、突風や降雨より落雷が先に起こることもありますので、早めの避難が大切です。雷鳴は、遠くに聞こえても危険信号です。

#### （2）すぐに安全な場所に避難する。

雷鳴が聞こえるということは、落雷の危険性があるということです。すぐに安全な場所に避難してください。校舎の中に逃げ込むのが、一番安全です。広くて平らな校庭は、危険な場所です。できるだけ姿勢を低くし、バットやラケットなどは、高く突き出さないようにしましょう。

※雷は、金属性の物よりも、より高いところ（物）に落ちます。

また、軒下や樹木の下、トタン屋根の小屋の中は、雷の被害を受けやすいので、しっかりした建物や自動車の中などにきちんと避難しましょう。

特に、樹木の下は、側撃（樹木に落ちた雷が、枝から人に伝わり被害を与える。）を受ける可能性が高いので、危険です。

下校途中で雷にあったときは、近くのお店や民家をお願いし、きちんと家の中に入れていただきますよう。

※ 雨宿りのように軒下に居るのは、とても危険です。

雷は、放電現象なので、上からだけでなく下からも横からも放電されます。

#### （3）余裕をもって待機する。

雷雲が遠ざかって雷鳴が聞こえなくなっても、20分ぐらいは、まだ落雷の危険がありますので、屋外での活動を再開したり、下校したりせずに、気象情報を収集し、危険性がなくなるまで安全な場所で待機しましょう。

雷雨の状況によっては、下校時間を過ぎても校舎内に待機させるため、帰宅時間が遅れることがあります。

その際は、学校からの“一斉メール配信システム”により各ご家庭に連絡いたします。よろしくお願いします。

また、ご家庭からお電話でお問い合わせいただいても、結構です。

### 1 登校前に震度5強以上の地震が発生した場合

- ① 自宅待機とします。※無理に登校しないでください。
- ② 余震等が続いたり、電話連絡等が不可能だったりする場合は、臨時休校とします。※全生徒が“自宅待機”となりますので、必然的に“臨時休校”となります。
- ③ 余震等が沈静化し、学校等に被害がないことが確認でき、電話連絡等が可能となった場合、緊急連絡網や“一斉メール配信システム”等により学校再開の連絡をします。※生徒は、必ず学校からの“学校再開”の連絡を受けてから登校してください。

### 2 登校時・下校時に震度5強以上の地震が発生した場合

- ① 通学路の交通状況に配慮しつつ、安全な場所に移動してください。地震が沈静化した後、学校が自宅か、近いところに移動してください。※学校は、登下校しなかった生徒の安否を実施可能な方法で確認します。
- ② 通学途中に地震にあった場合、どこに避難するかについて、各ご家庭で話し合っておいてください。